

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY+ 山科校		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 25日		R6年 12月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R6年 11月 25日		R6年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	■お子様・保護者様一人ひとりに合わせた支援計画、カリキュラムの作成・進捗共有の実施	■保護者様との定期的な面談を行い、お子様の普段の様子や変化を共有することで、適切な支援の推進・保護者様のお悩み解決に繋げている	■更に質の高い支援の実現のため、指導員の研修体制の充実を図る。今後は、子ども家庭支援課の研修に留まらず、オンラインを含む他領域への研修参加・他施設の見学・勉強会参加が拡大できるよう基盤を構築する
2	■保育園・幼稚園等関係機関との関係構築・継続的な連携の実施	■個別支援計画を関係機関と連携して作成することで、多角的な視点でのカリキュラム・進捗確認を行えることで円滑なPDCA実践体制の構築を図っている	■地域関係機関との更なる連携強化を図るため、これまで以上に医療機関・子育て支援関係機関等と連携体制の構築を推進することで、長期的な視点で、お子様・ご家族双方の支援充実を目指す
3	■ご家族状況に合わせた送迎サービスの充実	■幼稚園・保育園と連携を密にとることで、園の行事・園の集団活動に参加できるよう、必要であれば送迎日や時間調整を行うことで、お子様・関係機関の負担にないような支援が実現できている	■送迎サービスに限らず、ご家族の状況に合わせた支援時間の配慮・調整を行えるよう、ICTを活用した円滑な連絡ツールの整備・導入を検討する

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	■地域医療機関との連携・情報交換の関係構築	現状、利用者が通う医療機関との連携は、円滑に実施できており、ご家族と協議をしながら言語・運動等の支援については適切にカリキュラムにも組み込むことで相乗効果を促進できるよう支援を行っている	現状、特定エリアの医療機関との連携に留まっているため、更に領域を広げた連携強化を行うことで、質の高い支援の推進を図る
2	■就学時移行時の、小学校や特別支援学校(小学部)等との円滑な情報共有・相互理解の強化	事業所の開所が、まだ1年未満のため、各エリアの小学校・特別養護学校との強固な関係構築が実現できていない。	就学先面談を保護者様と早期に実施することで、関係機関との情報共有を円滑に実施できるよう体制整備を図り、長期的な視点での家族支援を推進できる基盤を構築する
3	■大規模自然災害時に向けた、対応の強化・情報発信	厚生労働省が掲げる方針を軸とした、安全計画・BCPを作成・定期的な内容のアップデートを行いながら、従業員への理解浸透・利用者家族への周知を実施	現状のBCPが画一的な内容になりつつあるため、新たに外部機関と協力した計画案へと都度変化対応を行い、従業員への更なる浸透を図る